

長浜市の部活動改革

令和 7 年度の取り組み経過

長浜市教育委員会事務局 教育指導課
部活動改革推進室

長浜市の部活動地域展開 1/6 中日

26年春から本格始動

少子化や教員の負担増を背景に、長浜市教委は2026年春から、中学校・義務教育学校で「部活動の地域展開」を本格的に進める。平日の活動時間を短縮し、休日は学校部活動から地域クラブへの移行を段階的に進める。

これまで市内12校では、複数校での合同部活動や外部指導者の配置など地域連携を進めてきた。今後は26

年度から3年間の前期改革実行期間で、平日の部活動終了時刻を最大で午後4時半とし、地域クラブの設立や指導者の確保を進める。

休日の活動は当面、学校部活動を継続しつつ、条件が整った部から地域クラブへ移行する。29～31年度までは休日の学校部活動を全面的に廃止し、地域クラブや民間クラブでの活動に切り替える方針。

市教委はスポーツ少年団との連携や指導を希望する教職員などで200人超の指導者確保を目指す。補助金や民間資金を活用して財源を確保し、経済的困窮世帯への支援策も検討する。

市教委教育指導課の細江秀樹課長は「今のままだと、各校でチームが組みなくなっていく。子どもたちの活動を守りたい」としている。取り組みについて、6日以降に市内の中学1、2年、小学6年の児童、生徒と保護者に説明する。

(平子宗太郎)

現状

長浜市立中学校・義務教育学校における部活動等加入状況調査

R7年6月時点

	学校名	部活数	生徒数	入部者数	入部率(%)	未加入数	未加入率(%)	クラブチーム 所属者数	クラブ 所属率(%)	夏季総体後、存続が危ぶまれる部	部活動 時間短縮 の可否
1	南部・ 旧長 エリア	A	434	377	86.9	57	13.1	20	4.6	ソフトボール部(中体連参加せず) 野球部、アメフト部(秋以降単独登録できず)	○
2		B	687	557	81.1	130	18.9	48	7.0		○
3		C	174	143	82.2	31	17.8	20	11.5	サッカー部(合同チーム、休部の危機)	○
4		D	378	327	86.5	51	13.5	47	12.4	アメフト部(部員数減) ソフトボール部(部員数減)	○
5	中部・ 旧東 浅井 エリア	E	360	295	81.9	65	18.1	65	18.1	野球部(合同チーム) 男子バレーボール部(部員数減)	○
6		F	152	120	78.9	32	21.1	39	25.7	女子バスケットボール部(部員数減)	○
7		G	242	184	76.0	58	24.0	87	36.0	野球部(夏季総体後活動停止) 女子バスケットボール部(#)	○
8		H	105	103	98.1	2	1.9	15	14.3	サッカー部(合同チーム) 野球部(合同チーム) 女子バレーボール部(部員数減)	○
9	北部・ 旧伊 香エ リア	I	281	223	79.4	58	20.6	32	11.4	ソフトボール部(夏季総体後活動停止) サッカー部(部員数減:検討) 野球(合同チーム)	○
10		J	137	104	75.9	33	24.1	18	13.1	野球部(拠点校化を検討)	○
11		K	99	74	74.7	25	25.3	16	16.2	女子バレーボール部(部員数減) 柔道、剣道は地域クラブで活動	○
12		L	46	44	95.7	2	4.3	4	8.7	女子バレーボール部(部員数減)	○
		111	3095	2551	82.4	544	17.6	411	16.1		

R7年11月時点の

【部活動と地域スポーツ、文化・芸術クラブ設置状況】

- ア 部活動・・・市内中学校・義務教育学校に110部設置
- イ 合同型部活動・・・野球①「A中学校・I中学校合同チーム」
②「E中学校・G中学校・H中学校合同チーム」
サッカー③「E中学校・H中学校・I中学校合同チーム」
④「C中学校・D中学校合同チーム」
ソフトボール⑤「D中学校・他市町の中学校との合同チーム」
アメリカンフットボール⑥「A中学校・D中学校合同チーム」
- ウ 拠点校型部活動・・・①「男子バスケットボール」
②「女子バスケットボール」
③「ソフトボール」

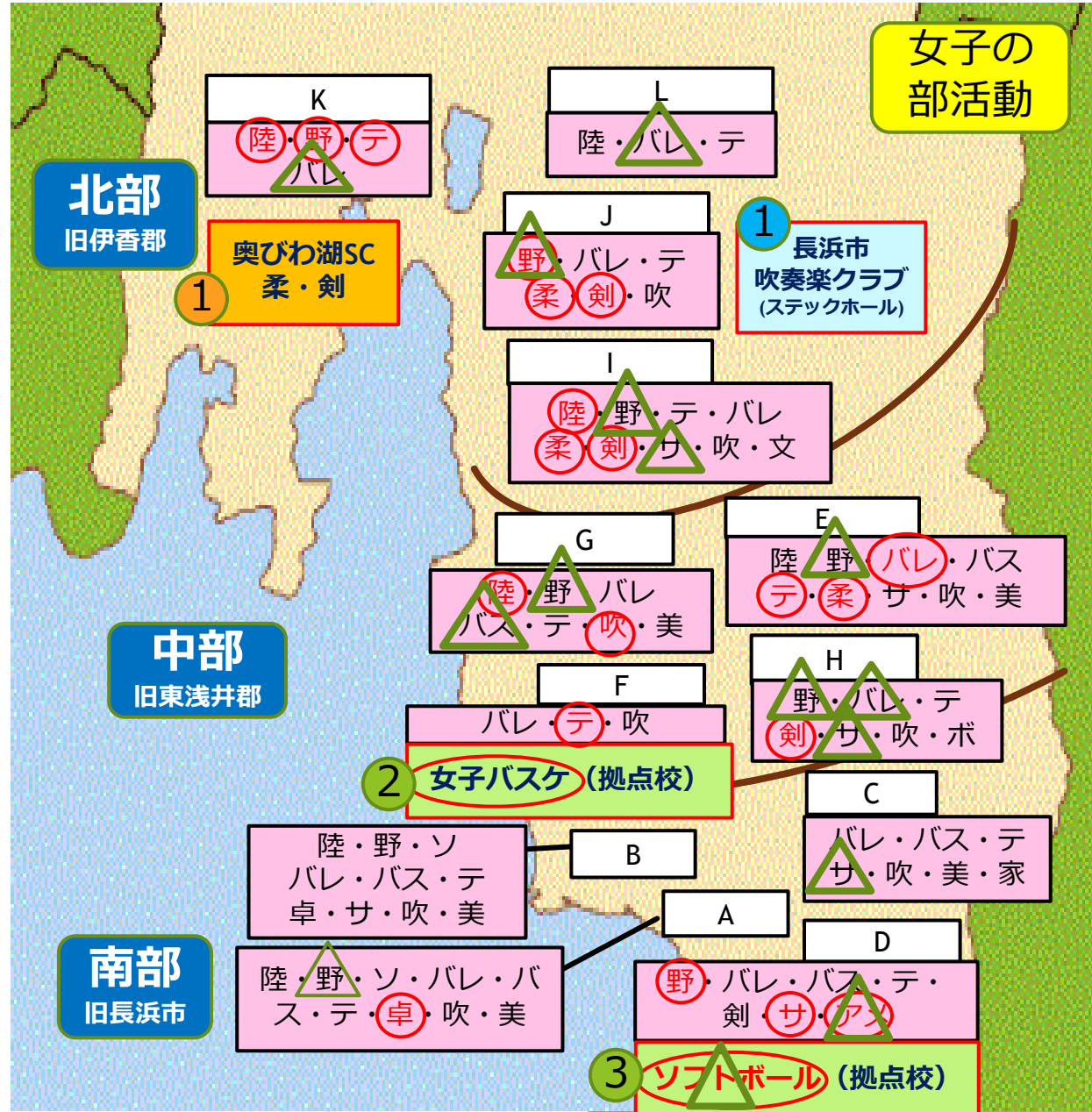
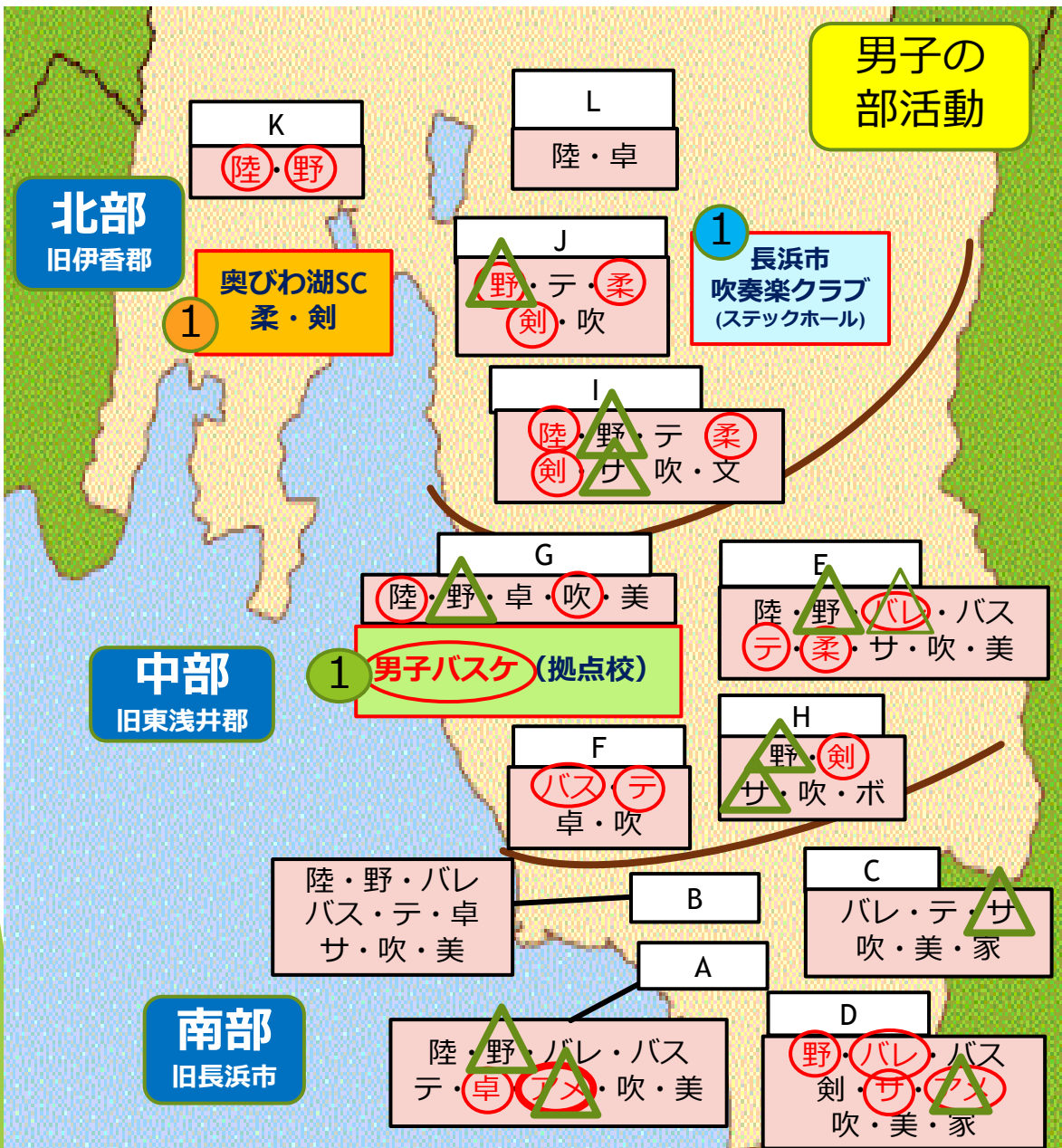
中学校、義務教育学校に配置している**外部指導者（部活動指導員等）・・・28名**

- エ 文化スポーツ事業団事業・・・①「長浜市吹奏楽クラブ」
- オ 地域展開型クラブ・・・①「奥びわ湖スポーツクラブ（柔道、剣道）」

現状

【R7年11月時点の【部活動と地域スポーツ、文化・芸術クラブ設置状況】

○ は外部指導者（地域人材）の配置
△ は存続が危ぶまれる部



長浜市の部活動改革

地域展開に向けた考え方と取組

長浜市教育委員会事務局教育指導課

中学校の部活動が変わります 地域展開にむけた取組を進めています



★ 学校部活動の「地域展開」とは・・・?

中学校・義務教育学校の部活動を、地域の文化・スポーツ団体が行う活動に展開していくことで、子どもたちが**多様な活動を体験できる機会と、将来にわたり活動を継続して取り組むことができる環境の整備を進める**ものです。

★ なぜ、部活動を地域展開するの・・・?

長浜市の部活動の現状から



- 少子化により中学生の数が減っているからです
生徒数が減ることで、一つの学校では部活動が成り立たなくなってきました。小規模校では、人数不足から休部や廃部の危機に面し、活動の継続が困難な状況です。
- ニーズの多様化
学校の部活動だけでは、生徒の望む活動ができない状況になっているからです。最近では、学校外の民間クラブへの加入が進むなど、部活動離れが進み、生徒の活動環境が揺らんでいます。
- こうした危機的状況が部活動改革を急ぐ大きな理由です

★ 来年4月からの部活動はどうなるの・・・?

平日の部活動が変わります

R8年4月から、**学校部活動は継続しますが、部活動時間を短縮します**

《現行》市内中学校・義務教育学校の一般的な部活動に関する時間
(夏季:最長時刻) **部活動終了17時15分 完全下校17時30分**
(冬季:最短時刻) // **16時15分 // 16時30分**

《R8年4月から》

(通常期間) **部活動終了16時30分 完全下校16時45分**
(12月～2月) // **16時15分 // 16時30分**

17時以降は「**新たな地域クラブ**」活動や民間クラブ等で活動します。
☆新たな地域クラブでは、部活動終了後に地域指導者が学校施設を使って地域クラブ活動を行う場合や、教員(顧問)が地域指導者の立場で指導する場合など様々なケースが考えられます。

新たな地域クラブとは?(裏面へ続く)

★ 新たな地域クラブとは・・・?

学校が中心となって行ってきた部活動を補うために、地域クラブや地域団体が中心となって、スポーツ活動や文化活動をおこなうものです。

部活動が地域展開することにより、生徒のスポーツ・文化活動の幅が広がり、選択肢が増えます。学校の枠を超えて、市内の地域クラブであれば、どこで活動してもよく、複数の種目を選択することもできます。



★ 長浜市の地域展開はどう進むの・・・?

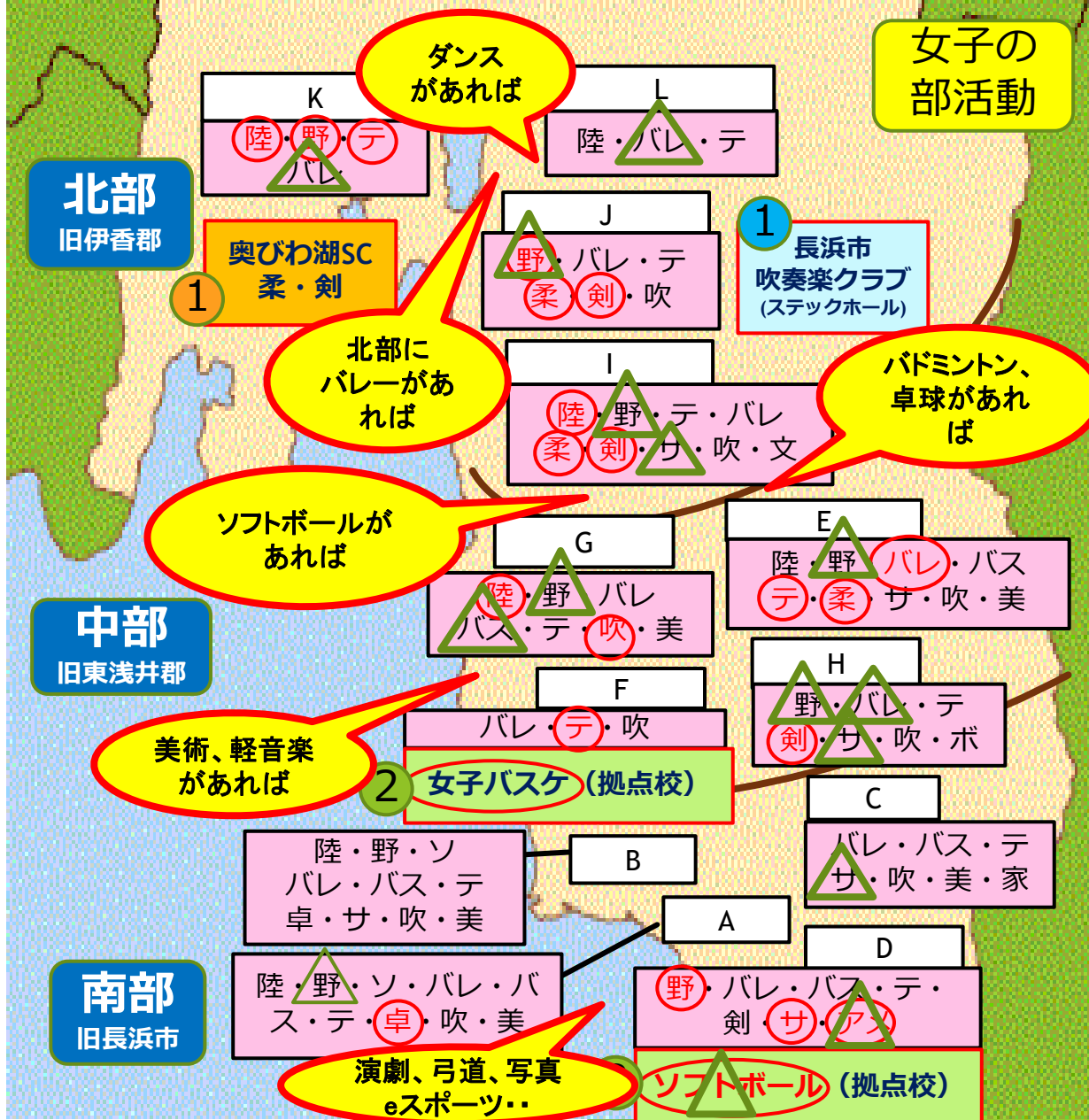
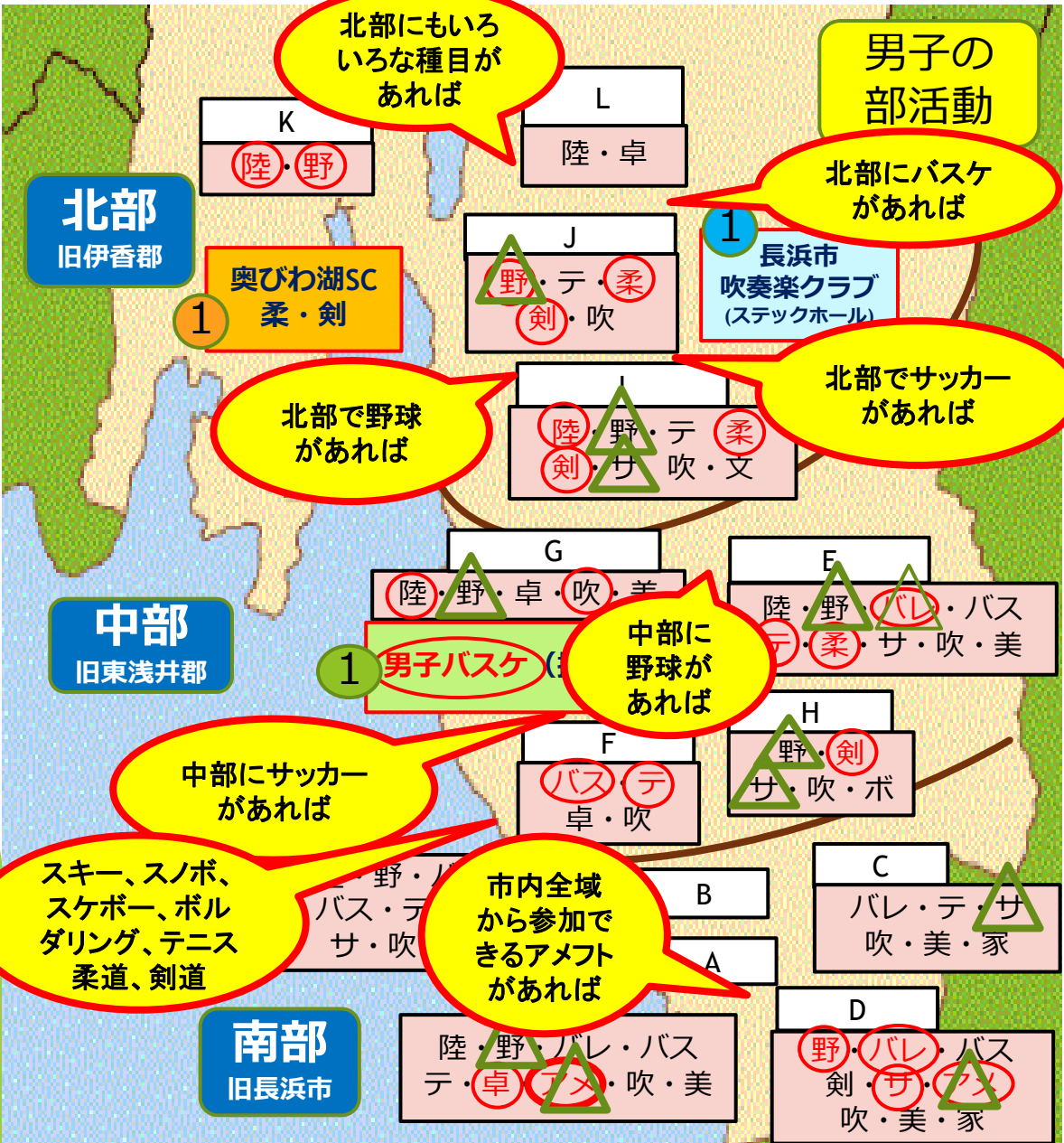
R8年度～R13年度までの6年間かけて、地域全体で生徒の豊かな活動を支えていくための体制を整えていきます。

長浜市の部活動地域展開イメージ図



【問合せ】長浜市教育委員会 教育指導課
〒526-8501 長浜市八幡東町632番地 電話:65-8605

○ は外部指導者（地域人材）の配置
△ は存続が危ぶまれる部



調査1

地域団体向け

長浜市の部活動地域展開に係る 地域団体受入調査

- 調査概要** 地域団体による中学生受入調査
- 調査対象** 長浜市内のスポーツ、文化芸術団体、各種教室
- 回答方法** LoGo Form、紙面によるアンケート調査
- 回答期間** R7年12月16日（火）～R8年1月9日（金）

長浜市教育委員会

長浜市の部活動地域展開に係る受入調査

Q1 クラブ名、団体名等をお聞かせください。

Q2 中学生の受入の可否についてお聞かせください。

- 1 受入可・・・Q3以降も引き続き回答
- 2 受入不可
- 3 検討中

Q3 クラブ、団体等のスポーツ種目や文化活動名をお聞かせください。

Q4 中学生が活動可能な曜日と時間をお聞かせください
例) 火曜、木曜の18:00～20:30 土曜の9:00～12:00

Q5 活動場所をお聞かせください。

例) ○○小学校体育館

Q6 活動内容をお聞かせください。

例) ○○の基礎練習、全体練習、自由練習、大会出場等

Q7 クラブ、団体の構成メンバーの年齢をお聞かせください。

例) 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

Q8 会費等についてお聞かせください。

例) 月額○○○○円、保険料○○○円、別途教材費等

Q9 メッセージ、目標等をお聞かせください。

例) 大人から子どもまで幅広い年齢層で活動し、○○の上達を目指しています。

Q10 代表者様の連絡先をお聞かせください。

お名前

住所

電話

メール

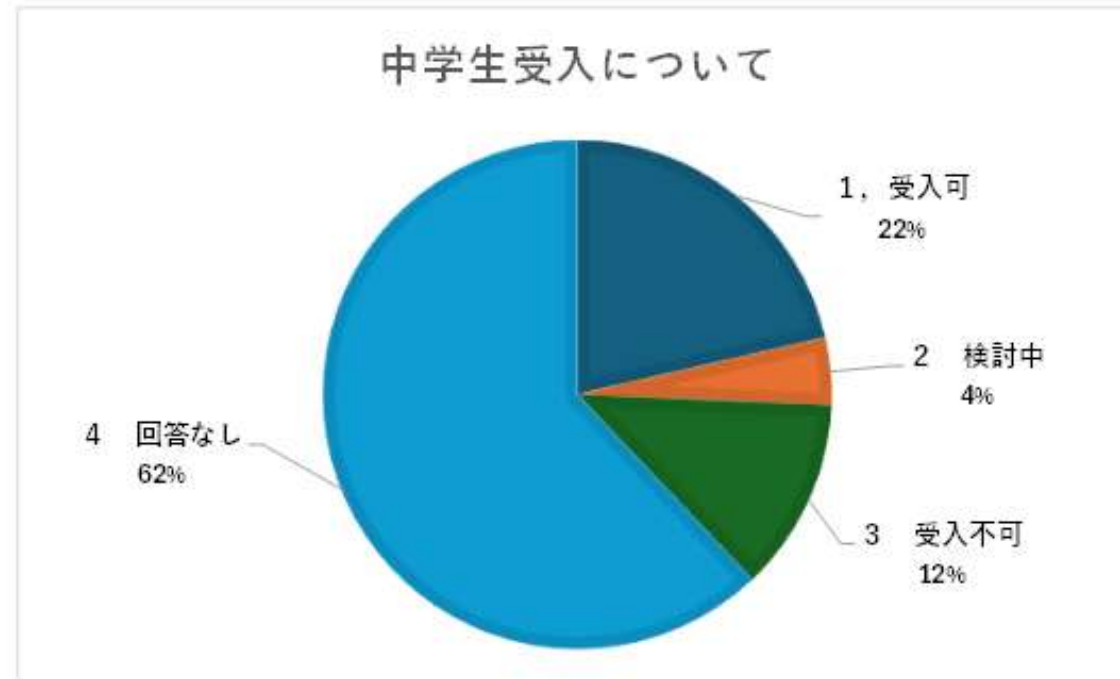
市内地域クラブを対象とした 中学生受入調査結果

地域クラブにおける中学生の受入について

質問1 中学生の受入は可能ですか。

回答

1, 受入可	70	クラブ
2 検討中	14	クラブ
3 受入不可	40	クラブ
4 回答なし	203	クラブ
	327	クラブ



中学生を受入可能な地域クラブ

大項目	目次用種別	種目等	団体数
スポーツ系活動	野球・ソフトボール	軟式野球	4
		ソフトボール	2
	バレーボール	バレーボール	4
		バレーボール(男子)	1
		バレーボール(女子)	2
	バスケットボール	バスケットボール(女子)	3
	サッカー・フットサル	サッカー、フットサル	2
	陸上競技	陸上競技	3
	テニス・卓球	硬式テニス	1
		ソフトテニス	1
		卓球	3
	バドミントン	バドミントン	2
	柔道	柔道	6
	剣道	剣道	8
	相撲・拳法・居合道・合気道	相撲	1
		少林寺拳法	1
		居合道	1
		合気道	1
	その他のスポーツ競技	よさこい	1
		ダンス、エクササイズ	1
フラダンス		1	
ヨガ、ピラティス		1	
ボウリング		1	
ボルダリング		1	

文化芸術系活動	美術(絵画、造形等)	絵画・ねん土造形	4
		絵画(水彩画)	
		立体(粘土)製作	
		アート、芸術	
	生け花・フラワーアレンジ	生け花	5
		生け花、フラワーアレンジ	
	俳句・詩吟	俳句	1
		詩吟	1
	演劇・合唱	演劇	1
		合唱	1
	器楽	吹奏楽	1
		津軽三味線	1
よしぐえ		1	
その他の文化活動	腹話術	1	
	茶道	1	

**R8.3.1時点
70クラブ 受入可**

調査2

教員向け

長浜市の部活動地域展開に係るアンケート調査

- 調査概要** 教員の地域クラブ指導に関する希望調査
- 調査対象** 長浜市内の小学校、中学校、義務教育学校教員
- 回答方法** LoGo Formによるアンケート調査
- 回答期間** R8年1月13日（火）～1月30日（金）

教員向け

長浜市の部活動地域展開に係るアンケート調査

Q1 部活動の地域展開により、中学生が「地域クラブ」で活動する場合、あなたはそれらの指導者として関わろうと思いませんか。

（兼職兼業による指導者には、平日、休日ともに学校職員の特殊勤務手当に相当する額の支給を検討しています）

- 1 関わろうと思う・・・Q2以降も引き続き回答
- 2 関わりたくない
- 3 まだ決めていない

Q2 関わりたいと思う活動（種目）をお答えください

教員向け

Q3 関わりたいと思う活動（種目）の経験や指導歴があればお聞かせください

Q4

どの場所に関わりたいと思いますか。

- 1 勤務校での活動に関わりたい
- 2 居住地での活動に関わりたい
- 3 その他の場所での活動に関わりたい（場所を記入）

教員向け

Q5 地域クラブでの指導を希望するにあたり、わからないことがあればご記入ください。

Q6

地域クラブでの指導を希望する方は、所属校とお名前をご記入ください

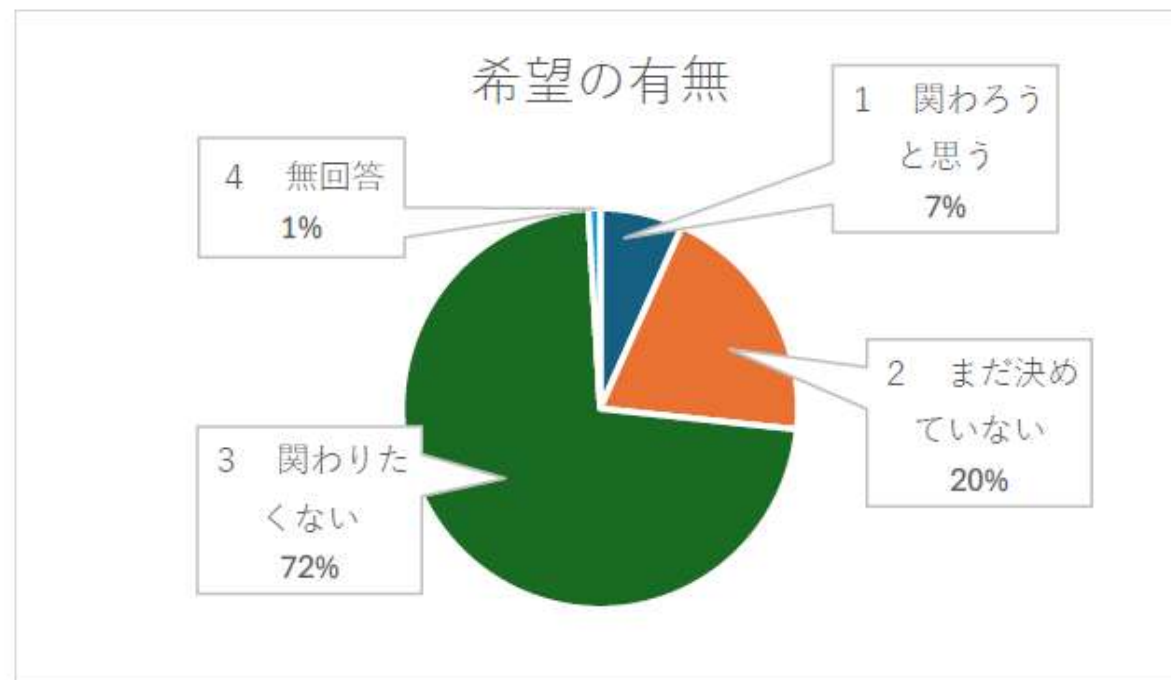
所属校

お名前

質問1 中学生が「地域クラブ」で活動する場合、あなたはそれらの指導者として関わろうと思いますか。

回答

1 関わろうと思う	36	名
2 まだ決めていない	105	名
3 関わりたくない	383	名
4 無回答	5	名
		529 名

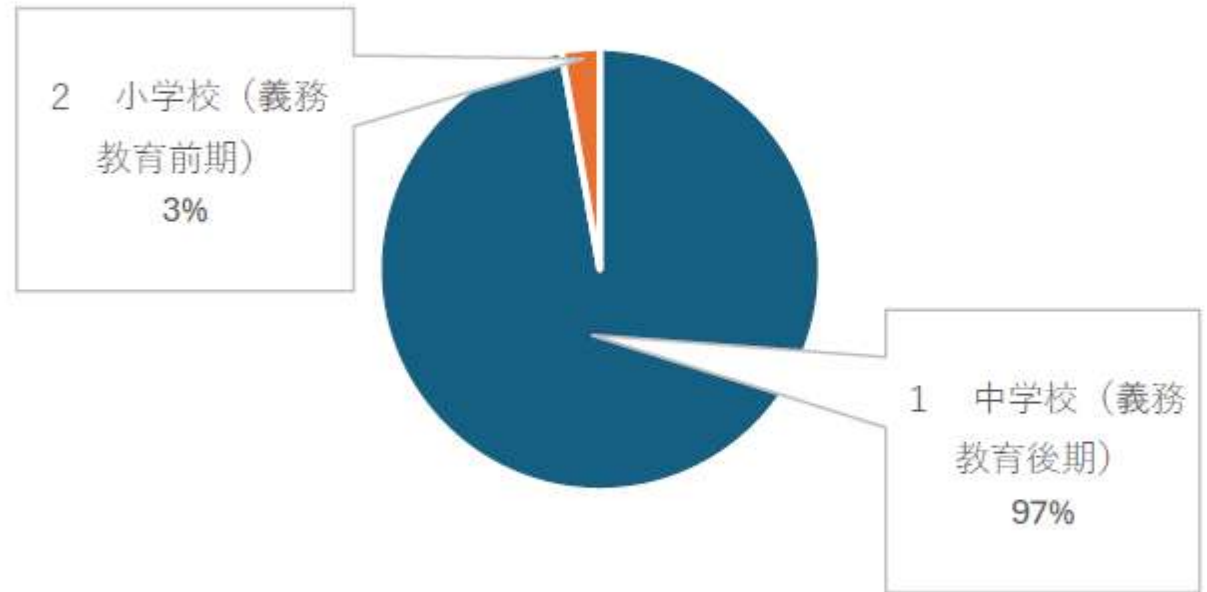


「関わろうと思う」と回答した教職員の所属

関わろうと思う（所属内訳）

1	中学校（義務教育後期）	35	名
2	小学校（義務教育前期）	1	名

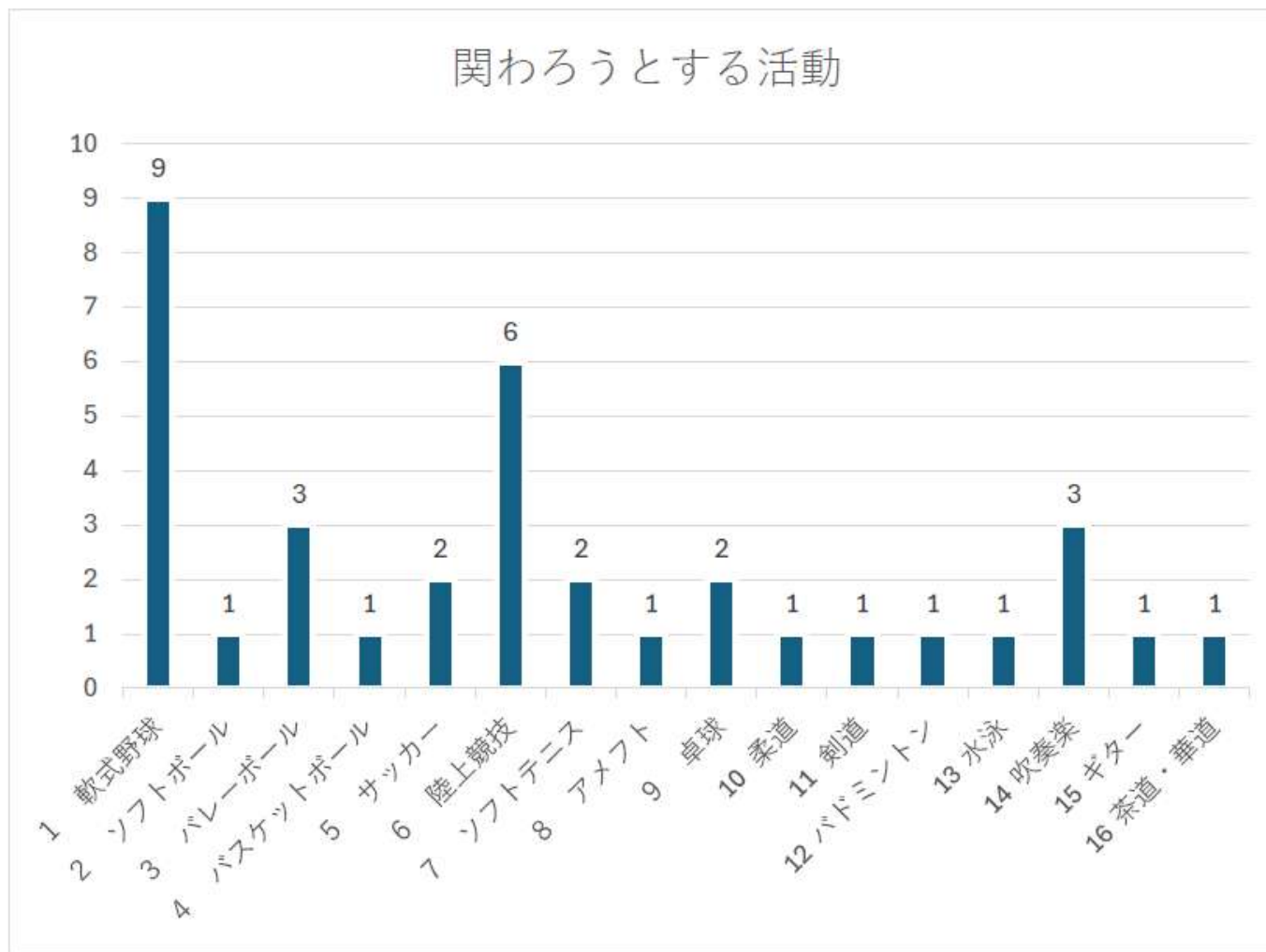
関わろうと思う（所属）



質問2 関わろうと思う方は、関わりたい活動をお答え下さい。

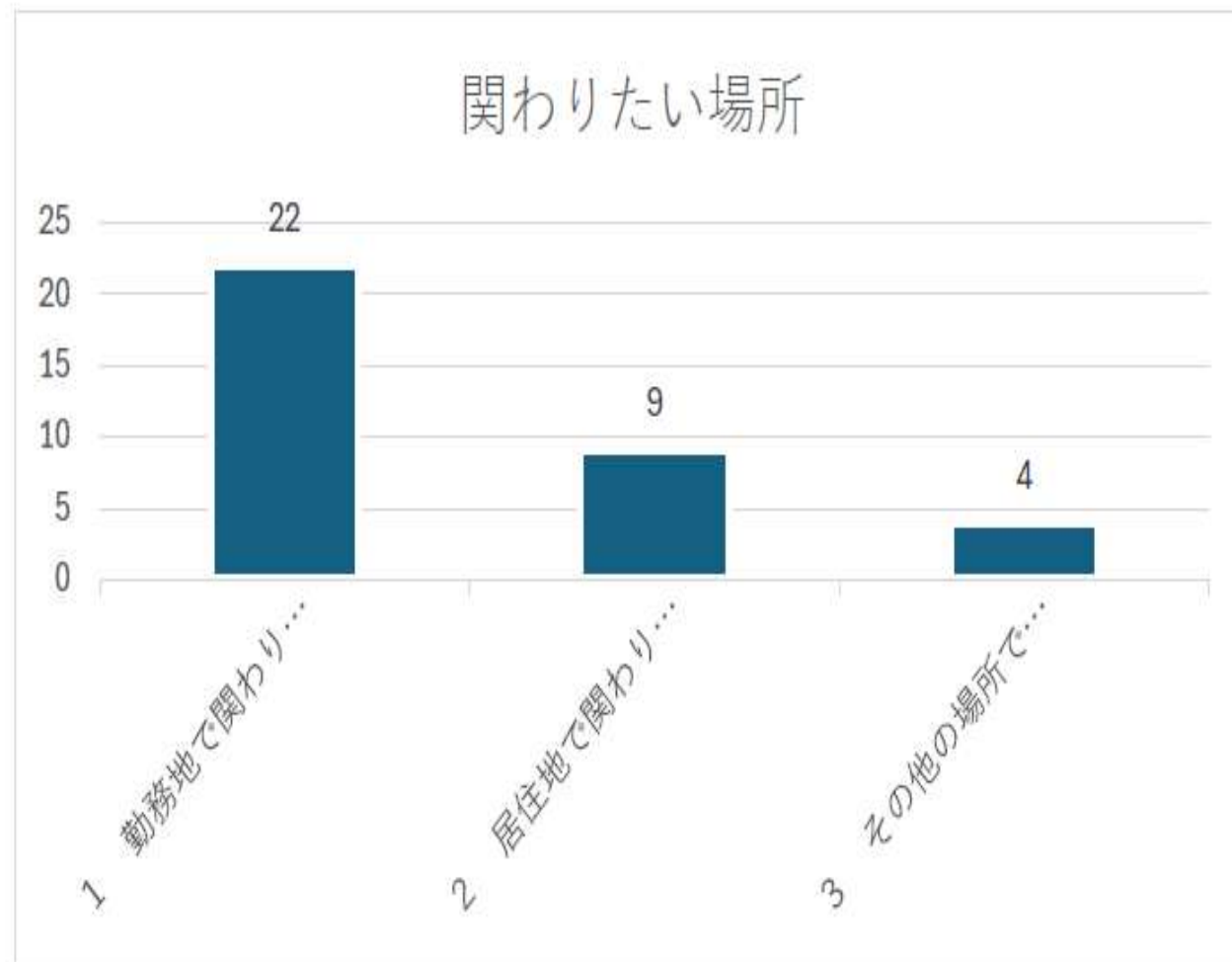
回答

1	軟式野球	9
2	ソフトボール	1
3	バレーボール	3
4	バスケットボール	1
5	サッカー	2
6	陸上競技	6
7	ソフトテニス	2
8	アメフト	1
9	卓球	2
10	柔道	1
11	剣道	1
12	バドミントン	1
13	水泳	1
14	吹奏楽	3
15	ギター	1
16	茶道・華道	1



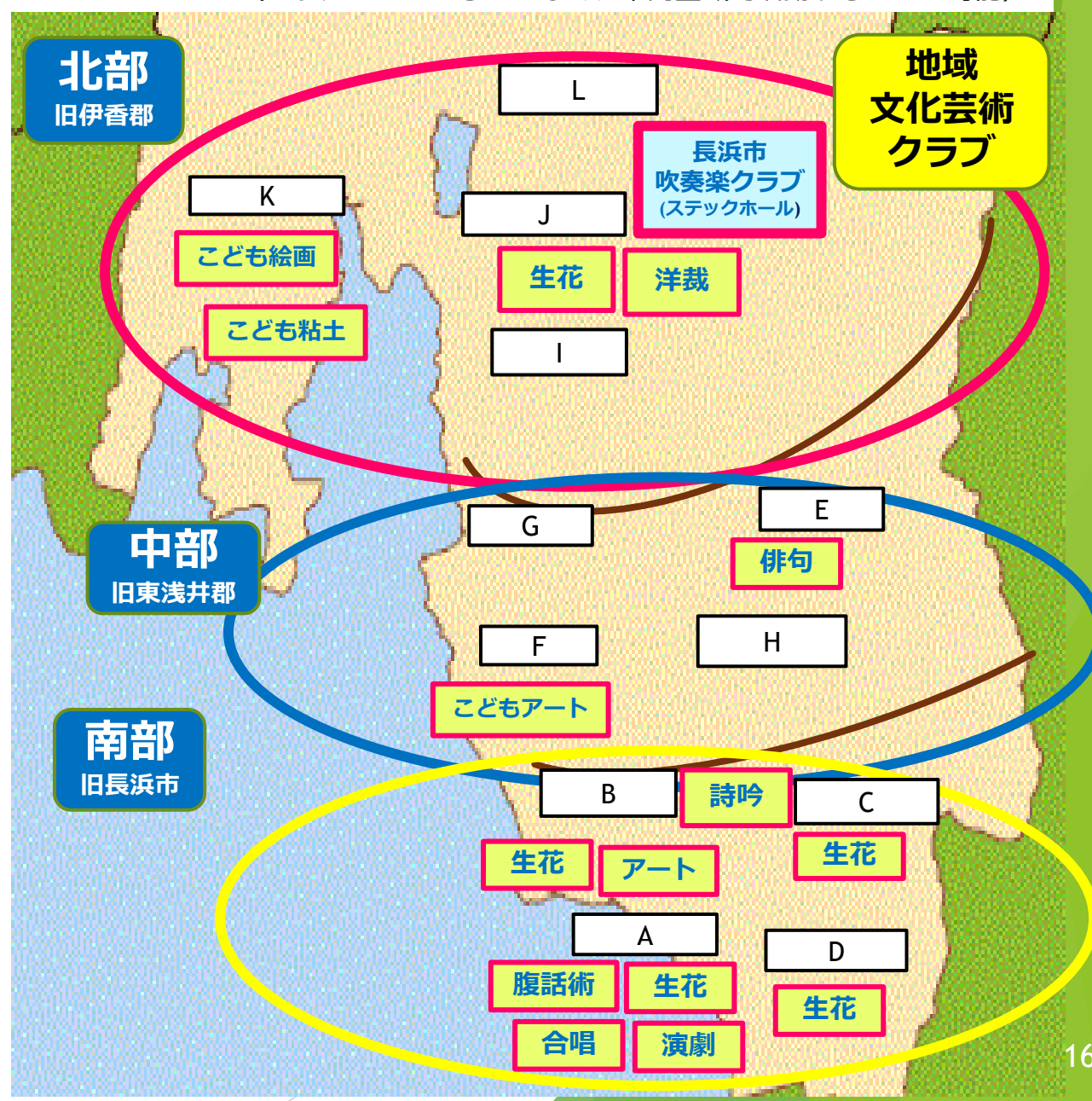
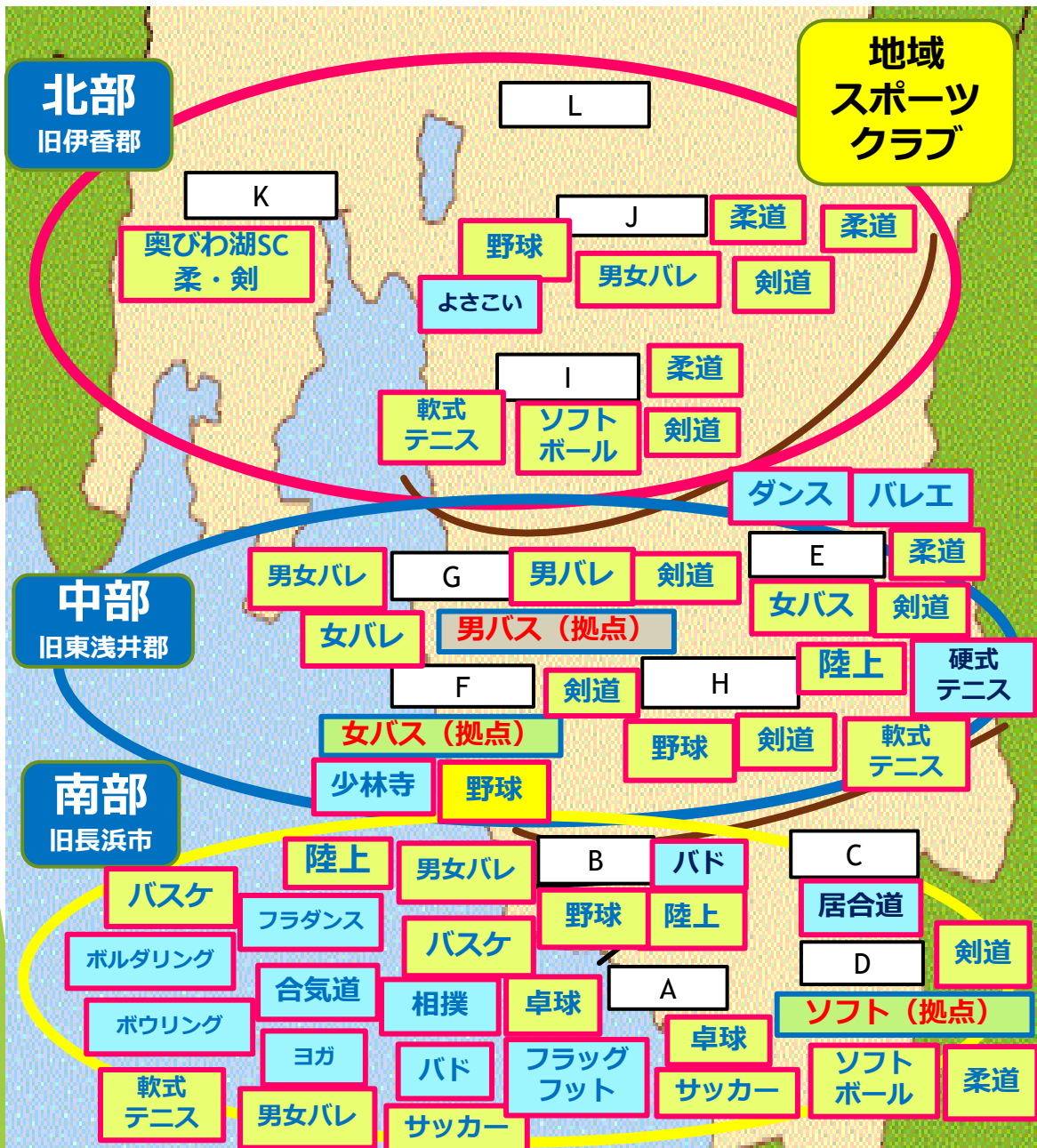
質問3 どの場所に関わろうと思いますか

1 勤務地に関わりたい	22
2 居住地に関わりたい	9
3 その他の場所に関わりたい	4



R8年度 中学生受入地域クラブ全体図（4月から活動可能）

（エリアにこだわることなく、市内全域で活動することが可能）



持続可能な活動環境の実現に向けて

改革実行期間1年目

R8年度



長浜市の部活動地域展開が
目指す「新たな価値」

①活動の選択

- ・学校の枠組みを超えた選択が可能となるため、自分の興味に合わせて、活動が選択できる。
- ・他校の生徒とともに活動することで、単独校では実施困難な集団スポーツが可能となる。

②幅広い世代との交流

- ・小学生から高校生、さらには大人と一緒に活動することで多世代の交流ができる。
- ・中学生が高校生や大人から学ぶとともに、小学生を教えるなど、指導の循環が生まれる。

③引退のない活動

スポ少引退、部活動引退で終わるのではなく、高校生あるいは大人になっても続けることのできる環境が構築できる。

子どもたちが将来にわたって、継続して活動することができる
環境を学校と地域全体で構築する